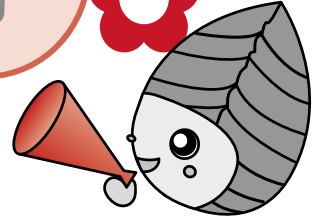


子育て支援!!



はるっこルーム

親子連れ優先のスペースです。
親子で遊びを楽しみましょう。
とき 月～金曜 午前10時～
※予約制
※予約方法は児童センターにお
問合せください。

こどもの育ち何でも相談

言葉の遅れやコミュニケーションの心配など、育児の悩みを臨
床心理士に相談できます。

とき 1月29日(金)午前10時～
10時45分・11時～11時45分

ところ 児童センター内

相談員 臨床心理士松本敬子氏

※予約制 各回2組まで

受付開始 1月7日(木)午前10時

※支援センターの行事に関しま
しては、本町社会福祉協議会
ホームページおよび支援セン
ターたよりでお知らせしてい
ます。

こいまでの問合せ先
児童センター

(総合福祉センター3階)

☎(441)1781

※小学生未満のお子さんは保護
者の方が必ず付き添ってくだ
さい。

ファミリー・サポート・ センター依頼会員募集

子どもの送迎・預かりを願
いしてみませんか。

対象 生後6カ月から小学6年
生までの子どもがいる町内、あ
ま市内在住・在勤の方

※登録説明会に参加が必要

登録説明会

とき

① 1月27日(水)

② 1月30日(土)

午前10時～11時45分

ところ

① あま市美和公民館

② 総合福祉センター

定員 各8名

※無料託児あり 要予約

・生後4カ月から未就学児まで

・説明会の1週間前に締め切り

申込方法 説明会の3日前まで

に電話かメールで申し込み

※件名「説明会申込み」、本文「氏

名、電話番号、参加日、託児の

有無(有の場合は名前、月年齢)

問合せ先 あま市・大治町広域

ファミリー・サポート・センター

事務局 ☎(462)0150

ama-harufamisapo

@clovernet.

ne.jp



施設等利用費 請求書等の提出について

幼児教育・保育の無償化によ
り、施設等利用給付認定を受け
た子どもの保護者の方は、申請
により償還払いを受けることが
できます。

対象

① 施設等利用費

保育の必要性の認定(保護者
の就労月64時間以上など)を
受けて、預かり保育、認可外保
育施設、一時預かり事業、病児
保育事業、ファミリーサポー
トセンターのいずれかを利用
された子どもの保護者

② 副食費の施設による徴収に係
る補足給付費

年収360万円未満相当世帯
および小学3年生から数えて
第3子以降の子どもの保護者

受付期間 1月4日(月)～29日(金)

※令和2年12月分までの領収書
をお持ちの方はお早めに申請
してください。

詳細は子育て支援課にお問合
せください。

申請・問合せ先 役場子育て支

援課 内線167

ボーイスカウト入団説明会

ボーイスカウト大治第1団では、4月から始まる新年度に向け新しく入団されるスカウトを募集しています。ボーイスカウトでは子どもの自発的な活動を大切に、指導者が見守る中で、「たくましさ、自主・協調・社会性」などを学びます。活動内容や費用などの説明会を開催します。また、日頃の活動は団ホームページをご覧ください。

(大治第1団で検索)

とき 1月24日(日)午後2時～3時

ところ ハツ屋防災コミュニティセンター 第一多目的ホール

対象 幼稚園・保育園年長～小学3年の男女

その他 ボーイスカウト入団に興味をお持ちの方、迷っている方は、お気軽にご参加ください。入団を希望される方は、親子でご参加ください。

申込・問合せ先 ボーイスカウト大治第1団(担当 山崎)

☎(442)45553

(午後7時から9時の時間内)

一時保育をご利用ください

保護者や同居の親族の方が仕事や病気などのため、一時的にお子さんを家庭で保育できないときにお預かりするものです。

対象児童 町内在住で認可保育所に在籍していない満1歳以上の未就学児童

利用時間等 月～金曜(祝日、年末年始、その他施設の休業日を除く)

実施施設



施設名	幼保連携型認定こども園 大治幼稚園	大治東保育園
所在地	西條土井ノ池35の2	北間島屋敷94
電話番号	(442)0385	(441)3114
保育時間	午前8時30分～午後4時30分	午前9時～午後4時

利用方法 利用については、事前に各施設にお尋ねください。

問合せ先 役場 子育て支援課 内線166

歯の健康講座

海部歯科医師会

唾液、ちゃんと出ていますか？

□の中の健康と長寿は密接につながっています。唾液は血液から作られ、99%が水分、残り1%には免疫をつかさどる成分が含まれています。

□の中の健康の大敵は「歯周病」です。炎症のある歯周組織には細菌がたくさんすみ着いていて、体に悪影響を及ぼします。高齢者の死因ともなる誤嚥性肺炎は、食べ物が誤って気管から肺に入り、食べ物についた□の中の細菌等により引き起こされる肺炎です。

□の中の細菌は、動脈硬化を進めたり、血糖値のコントロールを難しくしたり、認知機能の低下を招く原因になります。

そうならないための対策は、まず「歯磨き」です。就寝前、起床後すぐは特に念入りに磨いてください。年に1、2回は、症状がなくても歯科を受診し、歯石等を取ってもらえば、歯周病は予防可能です。

もう一つ大事な点は「唾液がしっかりと出る」ようにすることです。人は一日1～1.5ℓの唾液が出て、歯周病等により発生する□の中の細菌を退治してくれます。食べ物を飲み込みやすくする潤滑油になるため、誤嚥性肺炎が起りにくくなります。

「□の渇き」「顎の下の腫れ」「乾いた食べ物飲み込む際、水を飲む」「□の中がネバネバする」「食べ物飲み込みにくい」「□臭がある」等の症状があったら、何らかの原因で唾液が減少する「ドライマウス」かもしれません。

□の周りには、唾液を分泌する「耳下腺」「舌下腺」「顎下腺」という3つの唾液腺があります。食前に下あごの内側から耳の下までやさしく、ゆっくりマッサージすると唾液の分泌が良くなります。